総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。

そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取引業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取組んでおります。

1. 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

(1)総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
(2)総代候補者選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
(3)総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

2. 総代候補者選考委員選考基準

(1)資格要件
① 総代候補者選考委員は、当金庫の会員でなければならない。
② 就任時点で満79歳を超えない会員でなければならない。

(2)総代候補者選考委員の選考基準は次の通りとする。
① 地域における信望が厚く、信用金庫の使命を十分理解していること。
② 地域の事情に明るく、人格・識見とも優れていること。
③ その他金庫が適格と認めたもの。

3. 総代候補者選考基準

(1)資格要件
① 総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。
② 就任時点で満80歳を超えない会員でなければならない。

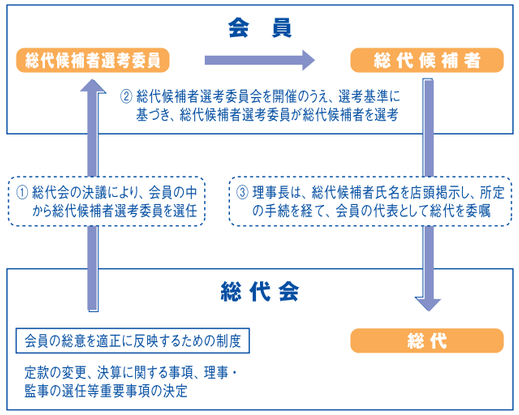
(2)総代候補者の選考基準は次の通りとする。
① 総代としてふさわしい見識を有している人であること。
② 良識をもって正しい判断ができる人であること。
③ 地域における人望が厚く、総代としてふさわしい人であること。
④ 地域での居住年数が長く、人縁関係が深い人であること。
⑤ 行動力があり、積極的な人であること。
⑥ 人格、識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる人であること。
⑦ 金庫理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人であること。

(3)非常勤を含む当金庫役員は総代を兼務することが出来ない。

4. 第93期通常総代会決議事項(令和2年6月23日)

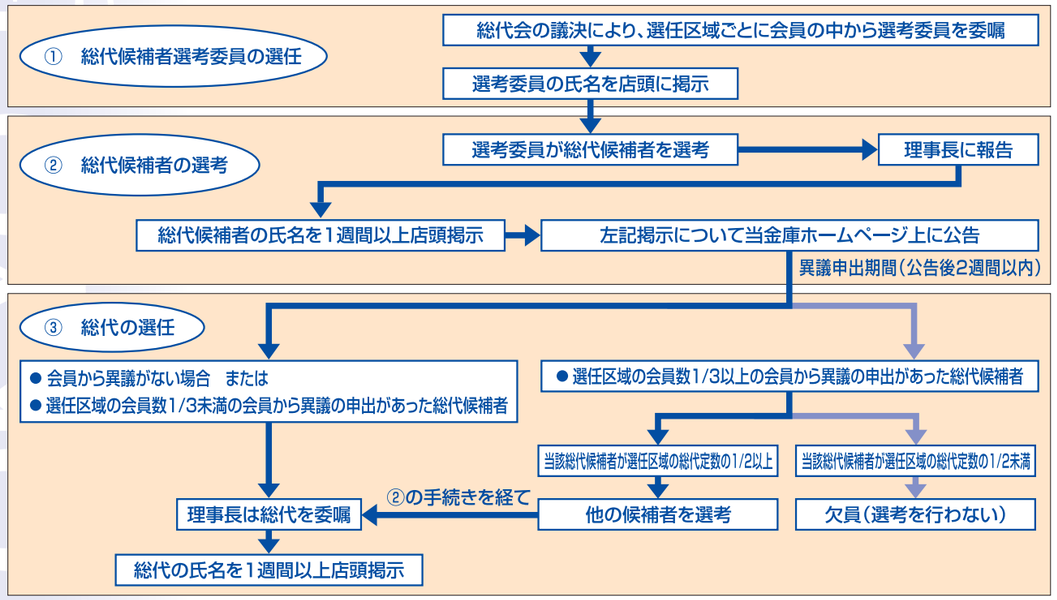
第 1 号 剰余金処分案承認の件
第 2 号 定款第15条に基づく会員除名の件
第 3 号 理事全員任期満了につき理事選任の件
第 4 号 監事全員任期満了につき監事選任の件
第 5 号 退任理事および退任監事に対する退職慰労金贈呈の件

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です。



〈総代が選任されるまでの手続について〉

地区を7区の選任区域に分け、会員数に応じて選任区域ごとに総代の定数を定める



〈総代の氏名等〉

令和2年7月1日現在

地 区	人 数	区 域	氏 名 (敬称略・順不同)
第1区	20人	市川市のうち 市川 市川南 新田 平田 大和田 大洲 真間 菅野 東菅野 国府台 曽谷 大野町 南大野 大町 柏井町 奉免町 稲越町 須和田 国分 中国分 東国分 北国分 堀之内 松戸市のうち 上矢切 中矢切 下矢切 栗山 三矢小台 二十世紀が丘 大橋 秋山 高塚新田	久野 勝己⑥ 塚本 福二⑥ 湯浅 健弘⑥ 中村 政邦⑤ 加藤 憲一⑤ 浮谷 直之⑤ 高島 和之⑤ 曽我 明哲⑥ 石井 重一⑤ 長谷 和雄⑦ 髙梨 近一④ 佐藤智枝子① 松橋 純子① 松井 玲子① 山口 薫① 竹内 清海① 芝田 弘一① 竹内 秀雄① 髙橋 直人① 林 卓也①
第2区	11人	市川市のうち 八幡 南八幡 宮久保 下貝塚 東大和田 稲荷木 鬼高 鬼越 高石神 中山 北方 北方町 本北方 若宮 高谷 高谷新町 田尻 原木 東浜 二俣 二俣新町 船橋市 習志野市 八千代市 千葉市 四街道市 佐倉市	植草 敏男⑥ 松丸 友樹② 稲葉 清一⑤ 石井 誠一④ 藤井 利一⑩ 工藤 祐政⑥ 田嶋 紀一⑥ 成瀬 正泰④ 田中喜兵ヱ① 松丸 元① 金澤 庸之①
第3区	19人	市川市(第1区・第2区の地域を除く) 浦安市 江戸川区	髙橋 秀夫⑥ 野地 豊⑤ 篠澤 正⑥ 吉橋 恒雄④ 榎本敬三郎④ 三橋 具典⑤ 木村 聖④ 並木 勝利⑥ 橋本 豊之⑩ 渡邊 孝二⑩ 奥村 政治⑤ 大澤 秀行④ 田中 政弘⑩ 田中 幸也⑦ 伊藤 明④ 森川 正明① 尾頭 博行① 岡﨑敬次郎① 郡 修三①
第4区	13人	野田市 流山市 埼玉県三郷市 幸手市 八潮市 吉川市 北葛飾郡松伏町 杉戸町 春日部市(旧春日部市を除く) 茨城県坂東市(旧猿島郡猿島町を除く)猿島郡境町 五霞町	坂倉 鋭一⑦ 桒原 和史⑤ 野島 定⑤ 玉ノ井哲夫④ 原 延雄⑤ 梶原 健一⑥ 金子 憲一⑦ 林 勝己④ 織原賢一郎① 大塚健太郎① 宮田 義則① 長澤 章裕① 遠藤 博一①
第5区	15人	柏市 鎌ヶ谷市 我孫子市 印西市(旧印旛村、旧本埜村を除く)白井市	坂東 民男④ 青山 貞夫⑦ 小溝 貞次⑦ 富澤 康人⑩ 山形 俊雄⑦ 安田 政弘⑤ 小林 良三⑤ 間宮偉佐夫④ 原 哲⑦ 深山 喜一⑦ 大木 義勝⑤ 大井 幹雄⑤ 渋谷 重大⑤ 長谷川寛一① 石原 雄一①
第6区	18人	江東区 葛飾区 墨田区 足立区 荒川区 台東区 千代田区 中央区 港区	松土 英男⑦ 横田 文雄⑩ 若林 茂⑥ 坪田 俊之⑤ 三浦 繁夫⑤ 川出 潤④ 島田 実④ 石田 哲司⑤ 松本 行雄② 鈴木 基之⑩ 佐竹 末男⑤ 横山 和久⑤ 髙橋 享④ 渡邊 省吾⑥ 渡辺 哲三⑤ 小泉 博久① 亀井 利重① 石澤 拓哉①
第7区	14人	松戸市(第1区の地域を除く)	浮ヶ谷信夫② 鈴木 等⑦ 加藤 栄⑩ 渡辺光一郎⑦ 早川 俊通④ 浅野 久⑦ 田中 孝⑧ 浮ヶ谷忠弘⑧ 岡田 吉夫⑩ 髙橋 康夫⑤ 宮口 博④ 佐藤 勝盛① 安蒜 崇① 佐々木恒司①
合 計	110人		

(注)丸数字は東京ベイ信用金庫での総代の就任回数

〈総代の属性別構成比〉

職業別	法人役員96.4%、個人事業主1.8%、個人1.8%
年代別	40代以下3.6%、50代14.5%、60代35.5%、70代40.0%、80代6.4%
業種別	製造業16.4%、建設業17.3%、卸・小売業23.6%、サービス業10.9%、不動産業(賃貸含む)20.9%、その他10.9%